

図書館だより

NO. 121 2008年 3月号
(2008年3月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

資料のインターネット予約をご利用ください

はつかいち市民図書館では、2005年6月からホームページを開設し、インターネットから資料の予約、借りている資料の状況や予約の状況を見ることができます。インターネット予約を希望する人は、次の手順で利用できますので、ご利用ください。

- ① 相談カウンターで「仮パスワード」を発行します。(利用カードと住所と名前の載った本人確認できるものが必要です)
- ② パソコンから市民図書館のホームページに入り「利用者のページ」を開いてください。
- ③ 利用カード番号と「仮パスワード」を入力して「送信ボタン」をクリックしてください。
- ④ 「パスワード変更」の画面で、「仮パスワード」を1回、「自分自身の新しいパスワード」(半角英数6桁以上、大文字・小文字どちらでも可)を入力し「変更ボタン」をクリックしてください。新しいパスワードに変更しましたというメッセージが表示されます。
- ⑤ 資料を予約するには、「資料検索・予約のページ」を開いてください。資料を検索し、該当資料の「タイトル」をクリックしたら「書誌情報」の画面が出ます。「予約処理」をクリックして、「利用カード番号」と「新しいパスワード」を入力し、希望する連絡方法と、希望受取館を選んでください。なお、連絡方法を「メール連絡」にする場合は、「利用者のページ」の「メールアドレス登録・変更」をクリックして、携帯電話かパソコンのメールアドレスを入力してください。

4月1日から、インターネット予約をする人への、資料貸出の確保連絡方法は、「メール・連絡不要」のみとなり、電話での連絡はできなくなります。窓口で「予約申込書」で申込をした人は、従来どおり「電話・メール・連絡不要」のいずれかを選ぶことができます。インターネット予約での資料貸出の確保連絡方法の種類が二通りになることで、ご不便をおかけしますがなるべく早く本を利用者に届けるため、ご協力ください。

今月の展示

<さくらびあ展示>『さくらびあ物語』—ギターに関する本—

ギターデュオ「GONTITI」のコンサートが開催されます。ギターに関する本を展示しています。

<中央展示>『文学賞受賞作品』

直木賞・芥川賞・山本周五郎賞・日本推理作家協会賞・江戸川乱歩賞・日本ファンタジーノベル大賞を受賞した作品を展示しています。

<児童展示>『春よこい!』

寒～い冬はもう終わり! ポカポカ陽気の春が来るよ。新芽がめぶき、動物たちは長い眠りから目を覚まします。ページをめくるたび、春を感じる絵本を集めました。

<テーマ展示>『裁判員制度』

裁判員制度に関する資料を展示しています。

みなさんからの「私のすすめる本」も引き続き募集しています。ご応募お待ちしております。

図書館員のすすめる本

一般書

『家日和』

奥田秀朗／著 F/オ 集英社

6つの短編からなる「家日和」は、家の中で起きるさまざまなエピソードを紹介している作品です。その1編「サニーデイ」は、子育てが一段落した主婦が、インターネットオークションにはまる話です。主人公の気持ちに寄り添いながら読んでいくと、日常の何気ない出来事の積み重ねの中に、他人にはわからない生きる喜びがあることに気づきました。毎晩寝る前に1編ずつ読み、ほっとできる時間を与えてくれた「家日和」は、忙しくて小説なんて読めないと思っている人にお奨めです。明日もがんばろうという気持ちにさせてくれる作品です。

(図書館職員)

一般書

『被爆のマリア』

田口ランディ／著 F/タ 文芸春秋

4つの短編からなる「被爆のマリア」は、戦争体験を持たない世代として、どのように戦争や平和にかかわっていくのか?と問いかけている作品です。

作家「田口ランディ」は、小説の一文一文から戦争や平和について、現実の世界と向き合っ
て考えていくことの大切さや、難しさを語りかけているような気がします。作者の思いや意図を理解しながら読んでいくことは楽な読み方ではありません。しかし、作者の考えに近づいていくことで、「田口ランディ」の作品には、一作品を読んでみただけでは理解できない大きな命題があることを知りました。

(図書館職員)

今月の新着 大人の本

図書館には1カ月に約700冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆ ★ 図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます ★ ☆

- 『人間力を高める読書案内』三輪裕範／著 ディスカヴァー21 019/ミ
- 『中国名言集 一日一言』井波律子／著 岩波書店 159.8/イ
- 『心の貌 昭和事件史発掘』柳田邦男／編 文芸春秋 210.7/コ
- 『医者、用水路を拓く』中村哲／著 石風社 333.8/ナ
- 『デッドライン仕事術』吉越浩一郎／著 祥伝社 S336.2/ヨ
- 『生活保護VSワーキングプア』大山典宏／著 PHP研究所 S369.2/オ
- 『恋する天才科学者』内田麻理香／著 講談社 402.8/ウ
- 『自然とかがくの絵本総解説』赤木かん子／編著 自由国民社 407/ア
- 『雲三昧 空を飾る雲の図鑑』村井昭夫／著 橋本確文堂 451.6/ム
- 『キレル大人はなぜ増えた』香山リカ／著 朝日新聞社 S493.7/カ
- 『銭湯遺産』町田忍／写真・文 戎光祥出版 521.6/マ
- 『パチンコ屋に学ぶ経済学』伊達直太+人生戦略会議／著 WAVE出版 673.9/ハ
- 『二本指のピアニスト』ウカブスン／著 新潮社 762.2/イ
- 『白川静さんに学ぶ漢字は怖い』小山鉄郎／著 共同通信社 821.2/コ
- 『カソウスキの行方』津村記久子／著 講談社 F/ツ
- 『空で歌う』中山智幸／著 講談社 F/ナ
- 『母べえ』野上照代／著 中央公論新社 F/ノ

あたらしく入った本 こどものほん

『ケーキさんのゆうれい』

ジ ャリソ・K・カ バソく マヅ ヨリ・フ ライマツエ
福本友美子やく フレーベル館 E/7

国いちばんのケーキさんのコーラ・リーが死んでから、店は売りに出されました。ところが、新しいケーキさんが入ってもすぐに出ていってしまいます。実はコーラ・リーがゆうれいになって出てくるのです。ゆうれいもよろこぶケーキのレシピ付き。

『ホネホネたんけんたい』

西澤真樹子監修・解説 大西成明写真 松田素子文
アリス館 481/ホ

ぼくらはホネホネたんけんたい！うさぎの体をホネだけにしてみると…、あんなに大きな耳があるのにホネがない。だけど、しっぽのホネは短くない。ホネにかくされた不思議やひみつが満載です。

『彼岸花はきつねのかんざし』

朽木祥作 ささみやゆき絵 学習研究社 913/ワ

人を化かすきつねを「おきつねさん」とおばあちゃんという。也子の前に現われた小さなきつねは、まだかわいい子ぎつねだった。原爆投下前の広島、子どもたちのあたりまえの暮らしがやさしく描かれていて、広島弁がとてもいい。

『かわべのトイとスニ』

キム・ジェホン作 星あキラ キム・スヨン共訳
小学館 E/キ

朝早く市場に行ったお母さんが待ちきれなくて、留守番をしていた兄妹は川原にやってきました。かわべの岩が動物に見えて、妹は母さんが今どこにいるか尋ねます。絵の中にかくされた絵を探しながら読み進んでいく絵本。深みのある絵が美しい。

『びよーんぱっちゃん！わゴム』

西島歩監修 チャイルド本社 578/ヒ

のばしても手を離すともどる、わかになっているのに、どこにも切れ目がないわゴムができるまでを、絵と文で解説した本です。いまでは誰もが知っていて、便利につかっているわゴムのことがよくわかります。

『リリー・モラハンのうそ』

パトリシア・ライリー・ギフ作 もりうちすみこ訳 吉川聡子
画 さえら書房 933/キ

1944年の夏、父は戦争に行き祖母とリリーはニューヨーク郊外の避暑地へ。そこでハンガリーから逃れてきたアルバートに会った。彼は妹をフランスに残してきたことが悔やまれてならない。戦時下、リリーと彼の友情を描いた作品。

『ハイ・フォースの地主屋敷』 フィリップ・ターナー作 神宮輝夫訳 岩波書店 933/ワ

『ハリネズミくんと森のともだち』 S. G. ヴァン・デア・グレン作 田中潔訳 岩波書店 983/ワ

『さてさてきしゃははしります…』 ウィリアム・ビー作 もとしたいすみ訳 フレーベル出版 E/ヒ

『地球を蝕む環境問題』 河合聡作 東銀座出版社 519/カ

おはなし会で使える「わらべうた」

2月7日（木）に開催された平成20年度はつかいち市民図書館おはなし会日程調整会では、「ちいさいこのためのおはなし会」でボランティアをいただいている古角一恵さんをお願いしておはなし会に使える「わらべうた」を教えてくださいました。古角さんは東広島に在住の高城敏子先生にわらべうたを習われています。「ちいさいこのためのおはなし会」ですぐに使えるわらべうたを12曲紹介していただきました。

〈「ちいさいこのためのおはなし会」ですぐに使えるわらべうたのご紹介〉

このこ どのこ かつんこ

子どもをひざに乗せて向かい合わせに座り、眼をみ合わせながらリズムにあわせて軽くゆすります。

たんぽぽ たんぽぽ むこうやまへ とんでけ

たんぽぽの綿毛をもっているイメージで、軽く体をゆすりながら歌います。最後に「ふーっ」と息を吹きかけ、綿毛を飛ばします。

2月7日(木)に行われた「おはなし会日程調整会」での児童研究書の新刊紹介のなかから特におすすめの本をご紹介します。

『赤ちゃんからの絵本ガイド』

さわだ さちこ/監修 主婦の友社/編 主婦の友社 2007 019.5/ア

※赤ちゃん絵本の年齢別・テーマ別絵本ガイド。豊富な写真で読みやすいレイアウトになっています。

『声の文化と子どもの本』

松居 直/著 日本キリスト教団出版局 2007 019.5/マ

※耳から聞く「ことば」の大切さと、子どもの本の基本的なことについて書かれています。

『心をつなぐ読みきかせ絵本100 続』

別冊太陽 平凡社 2007 L019.5/コ

※10代の人向け・高齢者向けなど対象別になっていて、絵本を選ぶときの参考になります。

『海外の絵本作家たち』

別冊太陽 ディック・ブルーナ/ほか述 柴田 こずえ/聞き手 平凡社 L726.5/カ

※絵本作家の仕事場の写真を掲載。仕事場からその作家の個性が垣間見ることができ興味深いです。

『アストリッド・リンドグレン』

ヤコブ・フォシェッル/監修 石井 登志子/訳 岩波書店 2007 L949.8/リ

豊富な写真や手紙からリンドグレンの波乱に満ちた生涯を知ることができます。

3月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 休館	4	5	6	7 ◎	8 ☆
9	10 休館	11	12	13	14	15 ■
16	17 休館	18	19	20	21 ◎	22 ☆
23	24 休館	25	26	27	28	29
30	31 休館					

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

■ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児～

【時間】11時～

場所はいずれも

図書館会議室です

*蔵書点検期間中(2月19日～29日休館)は、ご不便をおかけしました。

配架場所が変更になった箇所は各書棚に表示しています。

*3月1日～30日まで、忘れ物を展示します。お心あたりのものがありましたら、

お持ち帰りください。展示期間が過ぎたら処分させていただきます。